



～市民と響き合う議会～

八王子市議会だより

令和4年(2022年)
第4回定例会

No.268

令和5年(2023年)
2月1日発行

3年ぶりに

対面での議会報告会を開催

定例会では**男女共同参画推進条例**などを可決



「咲き誇る百花の魁」

さきがけ

(高尾梅郷 するさし梅林／裏高尾町)

今号は、西寺方町在住の古川仁洋さんの作品です。

📍高尾梅郷

旧甲州街道沿い約4.5kmの区間と小仏川沿いに梅林が点在し、全体で約1万本もの紅白の梅が咲き誇ります。2月中旬から3月中旬の見頃には、梅の花の香りが広がる中、散策が楽しめます。

令和4年 第4回定例会

本会議

男女共同参画推進条例など 市長提出議案54件を可決

4年4回定例会は、11月30日に開会し、本会議で議案等を各常任委員会に付託後、「男女共同参画推進条例」など市長提出議案54件を可決しました。また、議員提出議案は条例2件を審議し、1件を可決しました。

議員提出議案

議員提出議案の「男女共同参画推進条例」は、総務企画委員会に付託し、審査後、本会議で議決不要※1としたほか、1件を本会議で審議し、可決しました。

付託した条例の主な内容等は下段「総務企画委員会」へ

可決した条例

市議会の個人情報の保護に関する条例設定

個人情報保護法の改正に伴い、新たに条例を制定

陳情

提出された陳情2件は、都市環境委員会へ付託しました。

主な内容等は4ページ「都市環境委員会」へ

長期ビジョン特別委員会 調査・研究結果を報告

12月16日の本会議で、長期ビジョン特別委員会の浜中賢司委員長が、長期ビジョン（八王子未来デザイン2040）に関する調査・研究結果を報告しました。その後、議決で委員会を廃止しました。

長期ビジョン特別委員会の活動はこちら↓



委員会

常任委員会で付託議案を審査

12月6日の本会議で付託された市長提出議案54件及び議員提出議案1件、陳情2件は、各常任委員会で慎重に審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

総務企画委員会

開催日 12月7日

一般会計補正予算

住民票の写しを取得できる端末を本庁舎等に設置

問 マイナンバーカードを活用し、コンビニエンスストアなどの身近な場所で住民票等の写しを取得できる（コンビニ交付）端末機を、本庁舎1階ロビーや八王子駅南口総合事務所にも設置する理由は、

答 カードを所持しており、コンビニ交付を利用できる市民が、窓口に来庁した際に、職員が少しのサポートを寄り添って行えることで、コンビニ交付の利便さを実感してもらおうことが狙いである。

結果 可決すべきものと決定

男女共同参画推進条例設定（市長提出議案）

男女共同参画推進条例設定（議員提出議案）

男女共同参画施策の推進を図るための条例を制定

問 両議案とも「どのような社会を目指すのか」の記載が乏しいと感じる。しっかりと伝える記載にすべきでは。

答 （市）市民意見を受け、条文にさまざまな要素を盛り込むと、何のための条例かわかりにくいと考えた。市の目指していく社会は、平成11年の男女共同参画都市宣言で示していることから、条例は、どのように行動してほしいか市民に伝わるような内容にした。

問 議員提出議案では、附属機関※2である委員会に、諮問に依らず自ら委員会を開催できるなどの執行権が与えられている。委員会は執行機関である市と同等の扱いなのか。

答 （市）執行権は、地方自治法上、市長に与えられているが、一人ですべての事務を執行できないため、執行組織や別の行政組織を置き、職員を配置して執行している。一方、附属機関は、市の求めに応じ、意見を述べたり、調査するなど限定的な扱いであり、職員も配置できない。したがって、附属機関である委員会が、自ら委員会を開催するなどの規定は、法との関係上難しいと考えている。

結果 市長提出議案について可決すべきものと決定（対案である議員提出議案は採決を行わなかった）



さまざまな場面で男女が共に参画する社会の実現に向けて条例を制定

※1 市長提出議案の同名称の条例案が先に可決となったため、対案である議員提出議案の議決を不要としました。
※2 市長等の諮問等に応じ、必要な調査等を行う市職員以外の者を構成員に含む組織であり、市長等が条例等により設置

文教経済委員会

開催日 12月7日

一般会計補正予算

日本遺産サミット開催のほか、周遊ルートを構築

問 日本遺産の認定自治体が一堂に会するサミットを、

5年11月に本市で開催することだが、他のイベントと合わせて開催し、相乗効果を得られるよう工夫する考えは。

答 同時期に行うイベントに開催する考えであり、開催前の時期にも、機運を醸成できるような仕掛けを検討している。

問 本市の日本遺産を効率良く周遊できる仕組みをつく



高尾山薬王院



八王子城跡

日本遺産の構成文化財を観光資源として活用できるように、効率良く周遊できるルートを構築

るとのことだが、何を目玉とするのか。

答 高尾山をメインに考えているが、高尾山から中心市街地への誘客が難しいため、バスなどの公共交通機関で行けない箇所をタクシー等でつなぎ、周遊できるような仕組みを考えている。

結果 可決すべきものと決定

■学童保育所の指定管理者の指定(30件)

各学童保育所の指定管理者を指定

問 団体の能力や提案事業の内容、提案金額を評価し選

定しているが、提案金額が低過ぎると人件費にも影響し、問題ではないか。

答 選定する評価会議の参加者には税理士もおり、金額が低過ぎると事業の継続性の点で評価が下がるため、見極めができていないと考えている。

結果 可決すべきものと決定

育英基金条例の一部改正

育英基金を活用できる範囲を拡大

問 基金の利子だけではなく、原資も奨学金に充てられるようになるが、企業に対しても

積極的に寄附を募り、原資が枯渇しないようにできないか。

答 コロナ禍となった元年度以降、基金へは多くの寄附があり、まずはその寄附を運用できるよう調整したいと考えている。企業に対しては、企業の社会・地域貢献の取り組みと、奨学事業をつなげられるよう検討していきたい。

結果 可決すべきものと決定

厚生委員会

開催日 12月8日

一般会計補正予算

生活保護システムを改修する経費を計上

問 生活保護利用者の受診する医療機関で、マイナンバーカードによる資格・本人確認が行えるよう、システム改修することのことだが、確認方法は。

答 利用者が受診時にカードを提示し、医療機関が資格確認等を行う。市としてカードの確認事務は発生せず、医療機関が、診療報酬を支払う機関を介して、生活保護の利用状況のデータを確認する。

問 カードの申請手続きが難しいと感じる方に対する生活保護の所管での支援は。



マイナンバーカードの活用で、受診手続きもより簡単に(6年3月開始予定)

答 カードの申請窓口所管と連携し、支援を行った。利用自体は多くなかったが、引き続き支援していきたい。

結果 可決すべきものと決定

■保育園の指定管理者の指定(3件)

各保育園の指定管理者を指定

問 管理者を選考する評価項目のうち、虐待防止等の取り組みについて、指定を受ける管理者の評価が低い。さまざまな問題が起きないように、指導できないか。

答 指定後も年3回、状況を確認した上で、さまざまな対策を取りながら、しっかりと指導していく。

結果 可決すべきものと決定

都市環境委員会

開催日 12月8日

一般会計補正予算

ナラ枯れで枯死した樹木を伐採する経費等を計上

問 本市のナラ枯れ※の発生は、この1年で、感染が一目でわかるような状態になってきた。今後の見通しは。

答 感染のピークは4〜5年で、収束するまでに10年程度かかることである。本市では元年に感染を確認しており、現在がピークに近い状態であると推測する。今後、5〜6年は状況を注視していく必要があると考えている。

樹木の根元には木くず等が堆積



ナラ枯れに感染すると葉が急速に茶色や赤茶色に変色し、枯死する。放置すると倒木の危険も

結果 可決すべきものと決定

※昆虫(カシノナガキクイムシ)が運ぶ病原菌(ナラ菌)により引き起こされる樹木の伝染病

都市環境委員会

◎陳情

■あつたかホールの入浴施設継続(復活)に関する陳情(2件)

入浴施設の継続(復活)に向けての条例改正を

余熱利用センター条例の改正による、あつたかホールの入浴施設の閉鎖は、高齢者福祉の切り捨てである。当該条例を再考し、入浴施設を高齢者福祉として位置付け、継続的な運用・改善などを求める陳情。

問 北野清掃工場の停止で余熱はなくなるが、使用料を徴収し、継続させられないか。

答 当該施設は、ごみ焼却による余熱還元施設であるため、有料化は検討していない。

問 廃止について、事前に利用者への声を聞いたのか。

答 廃止決定後、利用者への説明に向き、継続への多数の思いを受け取った。しかし、当該施設は福祉施設ではなく、余熱利用施設である。余熱がなくなり、施設の目的や役割は達成したため、廃止を判断した。

◆前回の定例会で、入浴施設の廃止を含む条例改正を可決していることなどから、本委員会として、結論を出さず、採決を行わないことに決定

令和4年(2022年) 第4回定例会 議案等の審議結果一覧		会派の賛否							結果
		自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派		
市長提出議案 54件		付託委員会	13人 ^{※1}	10人	4人	3人	3人	4人	
4年度補正予算	一般会計補正予算(第6号)	全	○	○	○	○	○	○2×2	可決
	借入金管理特別会計補正予算(第2号) 給与及び公共料金特別会計補正予算(第6号)	総	○	○	○	○	○	○	可決
条例(主な内容)	個人情報の保護に関する法律施行条例設定(個人情報保護法の施行に関し、必要な事項を規定)	総	○	○	○	×	○	○1×3	可決
	情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正(根拠法令の変更により、引用法令や文言を整備)								
	情報公開・個人情報保護運営審議会条例の一部改正(根拠法令の変更により、引用条項や文言を整備)								
	手数料条例の一部改正(マイナンバーカードを利用した、証明書のコンビニ交付手数料を一定期間10円に規定)	文	○	○	○	×	○	○	可決
	育英基金条例の一部改正(基金を活用できる範囲を拡大)								
	奨学資金支給条例の一部改正(対象に特別支援学校の高等部を追加するほか、受給資格の要件を改定)	総	○	○	○	○	○	○	可決
	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正(都人事委員会勧告に基づき、期末手当を改定)								
	職員給与に関する条例の一部改正(都人事委員会勧告に基づき、給料表、初任給及び期末・勤勉手当を改定)								
	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正(職員に準拠し、期末手当を改定)							○2×2	可決
市長等の給与に関する条例の一部改正(職員に準拠し、期末手当を改定)	総	○	○	○	×	○	○2×2	可決	
男女共同参画推進条例設定(男女共同参画社会の実現のため、基本理念や市・事業者等の責務を規定)									
契約	本庁舎浸水対策建築工事請負契約の締結	総	○	○	○	○	○	○	可決
	国指定史跡八王子城跡保存用地の取得	文							
	移動台等の取得								
指定管理者	保育園の指定管理者の指定【3件】(静教・多賀・市役所内保育園)	厚							
	学童保育所の指定管理者の指定【23件】(東浅川小・浅川・下柚木・由木西小・松が谷・南大沢・南大沢西・宮上・まつぎ・長池・秋葉台・散田小・山田小・長房・栲田小・横山第一小・館ヶ丘・寺田・恩方東・片倉台・七国小・みなみ野君田小・高嶺小学学童保育所)	文	○	○	○	○	○	○	可決
	高尾599ミュージアムの指定管理者の指定	都							
	都市公園の指定管理者の指定(大塚公園ほか運動公園7施設)	都							
	学童保育所の指定管理者の指定【7件】(由木・由木東小・別所・船田小・由井・由井かたくら・北野学童保育所)	文	○	○	○	×	○	○	可決
	都市公園の指定管理者の指定(みなみ野大船の尾根緑地ほか八王子ニュータウン地区公園56施設)	都							
その他	市道路線の認定	都	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案 2件		付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果
※2 条例(主な内容)	男女共同参画推進条例設定(市長提出議案の対案)	総	同名の市長提出議案を可決したため議決不要						
	市議会の個人情報の保護に関する条例設定(法令から地方議会が除外されることに伴い、条例を制定)	一	○	○	○	○	○	○2×2	可決
請 願		付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果
件名	由井事務所開設時に八王子市が地元住民に約束した水路の改修工事及び近隣未舗装市道の舗装・雨水排水施設等工事の早期実施を求める請願	都	継続審査						

<会派名> ○：賛成 ×：反対

自民党：自民党新政会 公明党：八王子市議会公明党 市民ク：市民クラブ
共産党：日本共産党八王子市議会議員団 立憲民：立憲民主・市民の会 諸 派：会派に所属しない議員

<付託委員会>

総：総務企画委員会 文：文教経済委員会 厚：厚生委員会 都：都市環境委員会
全：4常任委員会(総・文・厚・都) 一：付託せず

※1 議長を除く
※2 議員提出議案の内容はこちら⇒



市政の



聞きました

一般質問

11月30日から4日間にわたり29人の議員が市政について一般質問を行いました。質問の中から関連した内容を取りまとめ、その要旨を掲載しています。

人口減少問題

人口減少問題への対応は

問 人口減少問題に向き合うため策定した、まち・ひと・しごと創生総合戦略は、4年度で8年間の計画期間が終了となるが、成果を聞きたい。

答 総合戦略では数値目標等を定め、施策に取り組んできた。3年度までの実績ではコロナ禍の中、約55%の取り組みが順調に推移している。また、本市の人口は平成27年の国勢調査では一度減少したが、2年の調査では、平成22年とほぼ同じ57万9千人まで増加している。

問 出生率の低迷は、生産年齢人口の減少につながり、良好な行財政運営に影響する。2年度の本市の出生率は1.09であった。総合戦略では2040年までに出生率1.8を掲げているが、達成の見込みは。

答 コロナ禍での経済状況の悪化は長期化が見込まれる。産み育てる不安などから、出生率の低下は今後も考えられ、現状1.8の達成は難しいと認識している。

問 歳入確保には、生産年齢人口層をいかに本市に呼び込むかが重要である。どの世代

答 総合戦略では、持続的な行財政運営を可能とするために、必要な活力を維持することなどを念頭に置いている。その中で、特に若年層と大学生を重点ターゲットとしている。

に施策を注力していくのか。

問 定住人口の維持や、交流人口の増加などにつなげるため、本市のブランドメッセージ「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」と総合戦略は、どのように連携しているのか。

答 総合戦略では、交流人口の増加を実現するための政策軸として、本市の魅力等を掲げている。本市の魅力等をわかりやすく表現したブランドメッセージを効果的に活用することで、交流人口の増加や居住につながると考えている。

ブランドメッセージ活用は

問 夜間照明灯の管理は、経費や安全、環境などの観点から、市で一元管理していくべきと考える。防犯灯の管理について、町会・自治会から市への移管を進めているが、現況は。

答 町会・自治会が所有する移管対象の防犯灯は約2万1千灯あり、6年1月の移管を目前に準備を進め、移管後はすべてLED化の予定である。移管により町会・自治会の維持管理が不要になるなど、財政的・人的負担が軽減されるメリットを説明し、すべて移管できるよう推進していく。

防犯・防災

防犯灯・防犯カメラ管理は

問 防犯カメラは、犯罪抑止や事件・事故の早期解決につながるが、設置の考えと課題について聞きたい。

答 犯罪抑止には、日頃から住民同士の声掛けや自主防犯活動が効果を発揮するが、人によるパトロールには時間や範囲に限界があり、補完するものとして、防犯カメラの設置を進めてきた。設置台数の増加に伴い、維持管理の負担も増えることから、設置と効果のバランス

総合防災ガイドブック 最大限の活用を

問 浸水予想区域などを改定する日頃の備えのための取扱説明書であり、発災後には、自身や家族を守る羅針盤にもなると期待している。最大限に活用し、災害に強いまちづくりに取り組んでほしいがどうか。

答 ガイドブックが市民の防災意識向上のきっかけとなり、一人ひとりが災害に対する理解と必要な備えを行うとともに、町会・自治会等が互いに助け合えるコミュニティが醸成されることを期待する。今後も自助・共助の推進と公助の強化により、災害に強いまちづくりに取り組んでいく。



ブランドメッセージやロゴマークを活用し、本市を市内外にアピール



市による防犯灯の維持管理や、防犯カメラの設置推進で、より安全なまちへ

一般質問は

質問方法

次の3通りから議員が選択します。

- ①一括質問方式（演壇で行い、3回まで可能）
- ②一問一答方式（発言席で行い、回数制限なし）
- ③1回目は演壇で一括質問、
2回目以降は一問一答方式



議長席前の演壇で行う一般質問（一括質問方式）

MICE推進で 大きな経済効果を

産業振興

問 市は、東京たま未来メッセを核に、MICE※1の誘致を進めているが、参加者が利用する本市の宿泊施設や飲食店などを、主催者にどのように提案しているのか。

答 MICEの開催を支援する八王子観光コンベンション協会では、開催の検討段階から宿泊や飲食等の全般的な相談に応じており、主催者の希望や参加人数などに合わせ、八王子MICEガイドブック等を活用して具体的に提案している。
問 主催者や参加者に喜んでもらえるよう工夫を凝らし、本市への経済効果をより大きく

してもらいたいがどうか。
答 MICE推進により、さまざまな分野の技術革新の創出はもとより、市全体に経済効果が波及することが重要と考えている。都内唯一の日本遺産や学園都市などの地域資源を存分にいかし、推進に取り組んでいく。

市内企業への支援は

問 産業振興には、企業誘致だけでなく、今ある市内企業への支援も重要である。企業の実態把握と、支援する企業の見極めについての考えは。

答 職員が企業訪問などで日常的にコミュニケーションを図り、経営課題などの把握を努める必要があると考えている。また、数年ごとに企業の実態把握や施策の分析・評価も行い、新境地を開拓する意欲のある企業など、支援していく企業を見極めていきたい。

食事の見本となる

学校給食を

学校給食

問 成長期の子どもたちが食べる学校給食は、安全な食材を使用し、栄養バランスのと



安全で、正しい食習慣を身に付けられる給食を

れた食事の見本となるよう提供してもらいたい。食材の選択方法は。

答 野菜は、農薬の使用を極力抑えて栽培された地場野菜を活用している。また、必要な食品添加物が添加された食品は使用しないなど、安全な食材を選択する上での基準を設けている。

問 本市では、献立により、おかずの皿にご飯を一緒に盛り付けている日がある。別々に盛り付け、ご飯茶碗を手に持って食べる正しい食事のマナーを子どもたちが身に付けられるよう、食器の種類を増やすことはできないか。

答 給食室の状況により、食器の消毒保管庫に余裕がある学校から順次、小皿からご飯茶碗への変更を進めている。今後、学校の実情を考慮しながら、

ら、食器の種類を適宜変更し、望ましい食事の形で提供できるように進めていく。

学校給食費の負担軽減は

問 子どもの貧困が拡大している今日では、学校給食が子どもの健康に果たす役割は大きくなってきている。また、家庭で義務教育にかかる費用のうち、給食費が占める割合も高く、貧困の拡大への対応、子育て家庭の負担軽減等の観点から、給食費の無償化を実現すべきではないか。

答 経済的に就学が困難な家庭については、就学援助により給食費を全額支給している。保護者負担の軽減については、給食費だけではなく、子育て全体に関する財政支援を国や都に要望していく。

問 企業版ふるさと納税※2で寄附を行う意向がある企業の中には、寄附金を給食費の負担軽減に活用してほしいとの意見があった。未来ある子どもたちに役立つ寄附金の活用方法を検討してもらいたいがどうか。

答 寄附者の意向を踏まえ、有意義な教育施策への展開が図られるよう、学校給食をはじめとした寄附金の活用方法について検討していきたい。

※1多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等（会議・学会・展示会・見本市など）の総称
 ※2国が認定した自治体の事業に対し、企業が寄附を行った場合に、法人関連の税額が控除される仕組み

本市議会の



今後は
課題は
現状は

質問内容（議案外の質問に限ります）

本市の行政全般にかかわる事務の執行状況や将来の方針等への疑問や提案などです。

質問時間

答弁を含め、一人当たり60分以内です。

子育て

子育てしやすいまち
ナンバーワンを目指して

問 本市は、子育てしやすいまちナンバーワンを目指しているが、転入を希望する子育て家庭のニーズの把握が必要ではないか。

答 子ども・若者育成支援計画の策定時における調査等のほか、日々の業務の中で、市民からの意見を基に捉えている。次期計画に向けた調査を5年度から開始するため、転入者を含めた子育て家庭のニーズを把握し、政策立案に取り組んでいく。



保健師等が妊娠や出産、育児に関する相談や情報提供を行う妊婦面談

問 これまでの本市の取り組みが評価され、日本子育て支援大賞を受賞した。妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない支援を行う八王子版ネウボラの成果と、課題について聞きたい。

答 保健師等が妊婦面談などで、妊産婦が安心して相談できる関係を築きながら、心身や家族の状況を把握し、切れ目なく必要な支援につなぐ仕組みを構築してきた。支援を望まない妊産婦がいることが課題であることから、電話や訪問に加え、オンラインで対応できる環境を整えるとともに、関係機関と連携し、面談率100%を目指し、働き掛けを行っている。

問 子どもの健やかな発育の要と考える。妊婦等を支援するパパマクラス^{※1}の内容を充実させ、親としての役割を自覚でき、自信につながるような講座にしてほしいがどうか。

答 参加者のアンケート結果から、子育ての仕方を身に付けることや、親になる実感を得ることがニーズであったため、おふる実習等を中心に行い、参加者から好評を得ている。また、オンラインでのパパマクラスでは、親同士の交流会も取り入れられている。今後も、コロナの状況や妊婦のニーズを捉え、充実を図っていく。

健康・医療

若者への自殺対策は

問 若い世代の自殺者が増加している。若い世代が孤立せず、安心して過ごせる施策が必要と考えるがどうか。

答 市内大学に自殺対策を周知したほか、授業に出向き、身近で悩んでいる人に寄り添うゲートキーパーに関心を持つよう、働き掛けを行った。今後、4年度に実施した調査を基に、若い世代が安心して暮らせる施策を検討していく。

がん撲滅に向けて
検診等の啓発は

問 子宮頸がん撲滅のため、検診は重要と考える。20歳



大学と連携した出張授業で、子宮頸がん等の女性特有の疾病の予防について普及啓発も

から24歳の検診の受診率が低いとのことだが、受診者を増やすための取り組みは。

答 市医師会の協力を得て、市内大学で出張授業を行い、子宮頸がん等の女性特有の疾病やその予防、かかりつけ医を持つことの重要性を啓発した。今後も大学等と連携し、普及啓発を進めていく。

問 若い世代が検診の必要性を認識するには、学校でのがん教育が有効と考える。授業の中で、検診はどのように取り上げられているのか。

答 市立中学校等の授業の中で、子宮頸がん等のがん検診が幅広く行われていることや、定期的に受診することの大切さを取り上げており、引き続き、健康教育の充実を図っていく。

国保税のあり方は

問 物価高騰の中、国民健康保険（国保）税の値上げは、国保加入者の生活をさらに困窮させると考えるがどうか。

答 国保加入者と国保以外の方との負担の公平性等を十分に考慮した上で、都が示す標準保険料率^{※2}を適用すべきものと認識している。今後、国や都に対して財政支援を要望し、関係機関からの意見を聞き、適切に判断していく。

※1 妊娠期から産後の心身の変化や赤ちゃんとの生活のイメージ作り、おふる実習等を行い、妊婦とその家族を支援する講座

※2 一定の方式で算定することにより、都道府県などの標準的な保険料率の水準を表したもの

一 般 質 問 を 行 っ た 議 員 で す (発 言 順)

質問者の発言の
題目はこちら↓



伊藤 森美 富木若渡 12月5日	日下部 五及若川 12月2日	村梶西望石前西 12月1日	森星久小岸浜相 11月30日
藤屋部 永田林口	部間川尾村木木	松原室月井田本	野井林田中澤田
忠昌 弥純	広賢喜奈基 勇	幸真翔宏佳和	喜直博秀功賢耕 米
之彦生子彩修 禎	志浩一 志	徹子希平和子也	彦美美司典司太 蔵

道路・交通

道路整備の考えは

問 崩落の危険性がある道路のり面で、沿道地権者の合意が得られず、整備を見送った事例がある。市民の安全確保に向け、合意がない場合でも整備・補修できないか。

答 危険箇所などの道路のり面の整備ができるよう、地権者との合意に向け、最大限努力したい。それでも合意が得られない場合は、補修工事の多様な工法から、適用できる工法を研究していきたい。

問 北西部幹線道路の工事は、市と都で施工部分を分け、事業を進めている。測量後に事業範囲外となった用地に対する買収の考えは。

答 都は原則、範囲外は買収取らないとしている。本市では、地権者から売却の要望があれば、検討の上、買い取りなど個別に対応している。

問 市は、シェアサイクル※1の実証実験を行っているが、利用データから判明した課題を聞きたい。

答 交通施策 課題への取り組みは



九兵衛坂公園（別所中学校北側）
買い物や休日の外出のほか、通勤・通学にも活用できるシェアサイクル

資源循環

ごみゼロ社会の実現は

問 市は「ごみゼロ社会への挑戦」というキャッチフレーズを掲げ、さまざまな施策に取り組んできたが、どのような成果があったのか。

答 市民の理解と協力で、ごみ収集の有料化や資源化の推進、戸別収集を実施してきた。これにより、平成30年度には埋め立て処分量ゼロを実現し、また、ごみ排出量の少なさで29年度から3年連続全国1位※3を達成することができた。

問 本市の人口は、2020年をピークに緩やかに減少していくとのことだが、今後のごみ排出量の見通しは。

答 コロナ禍で家庭系ごみは一時増加したが、現在は以前の水準に戻りつつあり、事業系は依然として平年の10%以上少ない状況である。今後、家庭系は緩やかに減少し、事業系は経済活動の回復で一定程度の増加を見込んでいるが、総量は減少傾向になると考えている。

問 交通空白地域において、AI（人工知能）を活用したデマンド乗合タクシー※2を導入できないか。

答 AIや自動運転などの先進技術を活用した公共交通サービスの実現は重要である。現在、AIを活用したデマンド乗合タクシーの導入に向け、調査・研究を実施しており、民間タクシー事業者との協働による実践的な取り組みを進めていきたいと考えている。



リユース品は、あったかホール1階の「ジモティースポット八王子」で展示

問 不要品のリユース（再利用）実証実験について聞きたい。

答 本実証実験は、4年9月から5年3月まで、再利用可能な不要品を、あったかホールで市が無償で受け取り、不要品売買等の掲示板サイトのジモティーに掲載し、希望者へ販売するものである。ジモティーの活用で、幅広い世代の多くの市民が利用している。

問 高齢化の進展に伴い、大人数の使用済み紙おむつの排出量の大幅増加が見込まれる。使用済み紙おむつのリサイクルを実現できないか。

答 都の実証事業の結果から、本市が収集する紙おむつは、有効に活用できると考えている。循環型社会の構築には、焼却ごみを減らし、さらなる資源化の推進が必要であることから、より具体的に検討していく。

※1 市内に複数設置したサイクルポート（専用駐輪場）で、自由に貸し出し・返却ができる自転車共有（シェア）サービス
 ※2 エリア内で利用者の希望時間帯や乗降場所などの要望に応じて利用できる地域交通
 ※3 人口50万人以上の都市における順位

議会活動レポート

市議会では議案審議や一般質問以外にも、さまざまな活動を行っています。ここでは、各委員会がテーマを決め調査する所管事務調査など、主な活動をお知らせします。

総務企画委員会

所管事務調査テーマ
ポストコロナを見据えた危機管理の在り方

- 11/2 【調】防災情報伝達における市民との懇談会
- 11/16 【調】[㊟]防災情報伝達における各プロセスについて—提言に向けて—
- 11/26 【調】恩方地区町会・自治会連合会の研修会における意見交換
- 12/7 【調】今後のスケジュール



11/2 懇談会

文教経済委員会

所管事務調査テーマ
児童生徒の登校支援～マンパワーとICTの活用～

- 10/12 所管事務調査の提言書を市長・教育長に提出
- 11/16 【報】委任専決処分[㊟]の報告(3件)
小中一貫教育に関する基本方針の改定



11/16 市からの報告を受ける委員

厚生委員会

所管事務調査テーマ
幼少期における発達障害の現状・その相談支援体制/
こども基本条例に関する調査・研究

- 11/4 【調】[㊟]提言に向けた検討、
条例試案の検討
- 11/17、12/8、12/22
【調】[㊟]テーマに関する提言(案)、
条例試案の検討



11/17 所管事務調査

都市環境委員会

所管事務調査テーマ
水のまちづくり

- 11/5 【調】現場視察／水辺活用実証実験(ミズカツ
会場の多賀公園等)、陵南公園付近など
河川事業関係者との意見交換
- 11/17 請願審査※ 結果：継続審査
【調】[㊟]提言書(案)の検討など
- 12/8 【調】[㊟]提言書(案)の検討



11/5 現場視察(陵南公園付近)

長期ビジョン 特別委員会

- 12/12 【報】八王子未来デザイン2040の策定



12/12 会議

付議事項：長期ビジョンに関する調査・研究

※ 請願名「由井事務所開設当時に八王子市が地元住民に約束した水路の改修工事及び近隣未舗装市道の舗装・雨水排水施設等工事の早期実施を求める請願」

令和4年度 議会報告会を開催



各常任委員会が取り組んだ
「所管事務調査」

開催日 令和5年1月19日(木)
場所 東京たま未来メッセ

今年度は3年ぶりに対面で開催

市議会では、平成26年度に議会基本条例を施行し、市民の皆さまの負託に応えるべく、議会改革に取り組んでいます。その一環として、市民の皆さまに開かれた議会を目指し、毎年、議会報告会を開催しています。

今年度は、昨年10月に開業した東京たま未来メッセを会場に、3年ぶりに対面で実施しました。

市への政策提案に向けて
各委員会が調査経過を報告

今回は、昨年度に続き、所管事務調査の取り組みを報告しました。所管事務調査とは、各常任委員会が所管する事務について主体的に調査テーマを設定し、専門性を発揮した政策提案ができるよう昨年度から導入したものです。

報告内容や当日のようすの動画は随時、ホームページに掲載していきます。また、所管事務調査の取り組み状況は、9ページにも掲載しています。

議会報告会はこちら↓



報告会は、吉本孝良議長の挨拶で始まり、八木下輝一議会運営委員長から報告内容の選定経過を説明後、各常任委員会の委員長から、調査経過を報告しました。

総務企画委員会

ポストコロナを見据えた危機管理の在り方
岩田 祐樹 委員長

文教経済委員会

児童生徒の登校支援
～マンパワーとICTの活用～
若尾 喜美絵 委員長

厚生委員会

幼少期における発達障害の現状・その相談支援体制／こども基本条例に関する調査・研究
五間 浩 委員長

都市環境委員会

水のまちづくり
馬場 貴大 委員長

市議会からのお知らせ

請願書・陳情書の出し方

請願・陳情は、市民の皆さまが市政への要望や意見を市議会に出すことができる制度です。議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と呼んでいます。

請願書・陳情書は日本文（できればA4判・横書き）で、請願・陳情の趣旨、請願・陳情事項、提出年月日、請願・陳情者の住所・氏名（法人の場合は名称と代表者名）、電話番号を記載し、紹介議員（陳情書には不要）が署名したものを議長あてに提出してください。受け付けは、随時行っています。

記載例（請願書の場合）

〇〇〇に関する請願	
請願趣旨	_____
請願事項	_____
年 月 日	
提出者（代表）	_____
住所	_____
氏名	〇〇〇〇
電話	_____
	八王子市議会議長 〇〇〇〇殿
紹介議員	〇〇〇〇
（陳情書には紹介議員は必要ありません）	

問い合わせ：議事課

■詳しくは会議録で
本紙掲載の質疑の詳細など、本会議や各委員会の発言を掲載した「会議録」や「委員会記録」は、市立図書館等で閲覧できます。また、市議会ホームページ

会議の様子はこちら↓



■市議会を傍聴してみませんか
市議会は公開しており、どなたでも傍聴できます。本会議の傍聴をご希望の方は、会議当日、市役所3階議事事務局議事課で申込書に住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取って傍聴席にお

会議録はこちら↓



■会議の様子はホームページで
本会議などの模様は、市議会ホームページで生中継しています。また、おむね7日後から、録画を配信していますので、ご利用ください。

にも掲載していますので、ご利用ください。
なお、4年第4回定例会の本会議の会議録は、2月中旬までに完成予定です。

アンケートはこちら↓



■掲載内容についてのご意見
掲載内容についてお気付きの点がございましたら、庶務調査課へお寄せください。
市議会ホームページでは、アンケートも実施しています。皆さまのご感想やご意見をお聞かせください。

入りにくいです。また、各委員会も定員の範囲内で傍聴できます。会議日程や議事内容など詳しくは、議事課へお問い合わせください。
皆さまの傍聴をお待ちしています。

4月23日は市議会議員選挙の投票日です



市議会議員は、市民の代表として、市の条例や予算を決定するなど、重要な活動を行います。

選挙は、皆さまが市政に参加する大切な機会です。一人ひとりの投票が、八王子の将来につながります。忘れずに投票しましょう。

（前回の市議選の投票率：44.89%）

**未来をつくる
あなたの一票大切に**

政治家の寄附は禁止。有権者が求めることも禁止。

**これらの行為は
すべて禁止です！**

お歳暮やお中元

入学・卒業祝い

落成式・開店
祝いの花輪

結婚祝い・香典
(本人出席の場合を除く)

葬式の花輪・供花

町会の催し物への寄附
や飲食物の差し入れ

お祭りへの寄附や
差し入れ

運動会やスポーツ大会
への飲食物の差し入れ

病気見舞い

次回の定例会の主な予定

令和5年(2023年) 第1回定例会 会期：2/22～3/29

日	月	火	水	木	金	土
			2/15	16	17	18
			招集告示日		議会運営 [㊟]	
19	20	21	22 開会日 議会運営 [㊟] 本会議 [㊟] (ネット) 予算 [㊟] (ネット)	23 天皇誕生日	24 総務企画 [㊟] 文教経済 [㊟]	25
26	27	28	3/1	2	3 議会運営 [㊟] 本会議 [㊟] (ネット) 予算 [㊟] (代表質疑等)	4
5	6	7	8	9	10	11
			← 本会議 [㊟] (委員会審査報告等) →	← 予算 [㊟] (総括質疑) →		
12	13	14	15	16	17	18
		← 総務企画 [㊟] 文教経済 [㊟] →	← 厚生 [㊟] 都市環境 [㊟] →			
19	20	21	22	23	24	25
		春分の日			予算 [㊟] (ネット) 議会運営 [㊟]	
26	27	28	29 最終日	[㊟] ：委員会 予算 [㊟] ：予算等審査特別委員会 分科会 分科会 分科会 (ネット)：市議会ホームページで中継		
		本会議 [㊟] (予算採決等)	本会議 [㊟] (一般質問)			

- 会議(議会運営[㊟]を除く)は、10時から開会します。
- 閉会中の議会日程は、市議会ホームページをご覧ください。
- 問い合わせ：議事課

傍聴者からの声



市民として
もっと市議会に関心を

石塚 岳さん (横川町) 初めて市議会を傍聴しました。一般質問では、詳細な調査を基に質問する議員に感銘を受けました。一方、データなどの事実確認を多く行う議員もあり、今後の市政方針等の質問をもっと聞きたいと思いました。

また、マスクを着用し発言しているため、傍聴席では内容が聞き取りにくく、スピーカー等の改善が必要と感じました。今回、傍聴して驚いたことは、傍聴者が非常に少ないことです。重要なことを審議する市議会にもっと関心を持たなければと感じ、市民として私自身大いに反省しました。今後も、機会があれば傍聴したいと思いました。

次回の議場コンサート*

日時：2月22日(水)の本会議前
午前9時30分～9時50分
受付：市役所3階 議事課(午前9時～)



演奏＝山形 真成さん (ヴァイオリン)

ひびき 表紙写真展

皆さまの力作を展示

本紙の表紙を飾る皆さまからの応募写真。今年も力作ぞろいの写真を展示します。

年間最優秀賞を決定

4年に発行した本紙の表紙に採用された4作品の中から、最優秀作品は、緑町在住のM. Nさんの「秋っていいね」に決定しました。



会場・日時*

八王子駅南口総合事務所
2月5日(日)～2月14日(火)
午前8時30分～午後7時
(土曜日は除く、日曜日は午後5時まで)

市役所1階市民ロビー
2月17日(金)～3月14日(火)
午前8時30分～午後5時
(土・日曜日、祝日を除く)

問い合わせ：庶務調査課

次号も 表紙写真を募集

◆募集内容

春・初夏をイメージした市内の風景など、第1回定例会号(5月1日発行予定)の表紙にふさわしい写真(写真の縦・横は問いません)

◆締切

3月30日(木)まで

応募方法は
こちら⇒



*今後の新型コロナウイルスの感染状況により、議場コンサート及び表紙写真展の予定を変更する場合がありますので、最新情報は市議会ホームページでご確認ください。

